令和7年度 一般人間ドック受診票(組合員用)

本

利用有効期限 令和8年3月25日まで		(フリガナ)	
所属所名		組合員氏名	
所属所コード		組合員番号	公立京都

※職員番号ではありません。7桁の公立学校共済組合の組合員番号を記入してください。

生年月日	昭和・平成	年	月	日	性別	男・女
受診健診機関名						
受診年月日	令和	年	月	日		
利用対象者 及 利用者負担額 (該当する番号を ○で囲んでください。)	1	受診日において組合員資格を有する者のうち、下記以外の者(助成対象外の者)				円
	2	令和7年5月1日と受診資格を有する者	平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ(満35歳) 昭和46年4月2日～昭和61年4月1日生まれ(満40歳～満54歳) (満40・50歳の組合員が無料人間ドックを利用する場合は、無料人間ドック利用券により令和7年6月1日以降に受診してください。)			13,000円
	3		昭和45年4月1日以前生まれ(満56歳以上) 昭和45年4月2日～昭和46年4月1日生まれ(満55歳)			10,000円 胃カメラ追加料金:無料

1の助成対象外の方の受診者負担額は健診機関により異なりますので、乳がん・助成対象外の方の受診を希望する場合は別途料金が必要で。また、乳がん・助成対象外の方の受診は健診機関から転記していただく必要がございます。

- 本受診票及び一般人間ドックと同時に利用する検診の利用券に記載された個人情報、受診資格の確認及び健診機関から公立学校共済組合への健診費の請求に利用されること。
- 本年度中に満74歳以下の年齢に達する方(年度中に満75歳になる75歳未満の方も含む)については、特定健康診査・特定保健指導やその他健康保持増進に必要な事業を実施するために、一般人間ドックの健診結果が公立学校共済組合へ提供されること。
- 年度内に共済組合の乳がん・子宮頸がん検診、自己採取子宮頸がん検診及び大腸がん検診は受診しないこと。(上記「利用対象者」のうち、1の助成対象外の者は除く。)

上記のとおり同意の上、受診します。

令和 年 月 日 (同意日を記入の上、自署すること)

組合員氏名

上記記載事項に相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

所属所名

所属所長 職・氏名

(Tel

印

印

所属所
担当者

(記入の注意)

- 上記枠内をきれいに記入・押印ください。
- 消えないインク(黒又は紺)で記入してください。消えるボールペンや鉛筆等で記載した場合は、無効として扱います。
- 公立学校共済組合の組合員番号を記入してください。(職員番号ではありません。)

(受診の注意)

- 京都支部の契約健診機関のみ利用できます。
- 受診の際は、マイナ保険証等及び自己負担金を持参してください。
- この受診票は、健診機関から公立学校共済組合京都支部に対する費用請求書に添付されますので、受診日当日に必ず健診機関に提出してください。

*この受診票がないと公立学校共済組合京都支部の人間ドック事業は利用できません。利用は年度中1回限りです。(無料人間ドック受診者は、利用できません。)

●年齢要件を満たす組合員が、セルフケア脳ドック・前立腺検診(男性のみ)・骨粗しょう症検診(女性のみ)の受診を希望する場合は、別途利用券が必要です(要事前予約。利用券を受診日当日に提出しなければ助成を受けられません。)

●本年度中に満40～75歳を迎える方は、一般人間ドックを受診された場合、特定健康診査の受診券(該当者には所属所を通じて配付します。)は各自で破棄願います。(両方の受診はできません。)